

水道管の凍結に注意を

ページID 329

夜の冷えこみにご注意

気温がマイナス4℃以下になると、防寒の不完全な水道管は凍ったり、破裂したりします。特に多いのは次のようなところです。

- ① 水道管がむき出しになっているところ
- ② 水道管が北向きにあるところ
- ③ 風あたりの強いところにある水道管

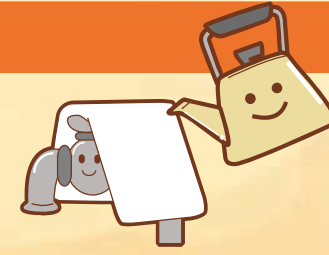


水道管が破裂したとき

まず、メーターボックス内の止水栓を閉めて水を止めます。そして、破裂した部分に布かテープを巻きつけて応急手当をしてから、**稲沢市水道事業指定給水装置工事事業者**へ修理をお申し込みください。

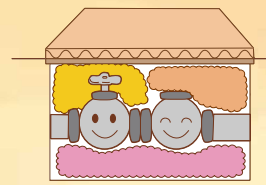
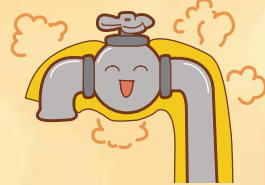
水道が凍って出ないとき

タオルをかぶせ、その上からゆっくりと**ぬるま湯(30～40℃)**をかけてときます。熱湯をかけると破裂やヒビ割れすることがありますので、ご注意ください。



防寒の仕方

- ① 保温材を巻きます。蛇口が破裂しやすいので、絵のように完全に包んでください。
- ② 手近なものとして、毛布、布などを利用してください。なお、これらがぬれないように、上からビニールなどを巻いてください。
- ③ メーターボックスの中に使い古しの毛布や布切れなどを入れ、メーターボックスの上にダンボールなどをのせて保温してください。



水道工事は

「稲沢市水道事業指定給水装置工事事業者(指定工事店)」へ

ページID 320



指定給水装置工事事業者とは、水道法の規定により給水装置の構造及び材質が政令で定める基準に適合することを確保するため、水道事業者から給水区域内において給水装置工事を適正に施行することができると認められ、その指定をされた者です。

新しく水道を引くとき、建物のリフォームなどにより給水管を増設、改造をするときは指定給水装置事業者でなければ給水装置工事はできません。

また、トラブルを防ぐためになるべく複数社から見積もりをとり、内容を検討したうえで契約してください。業者によっては、見積もりが有料となる場合もありますので事前にご確認ください。

稲沢市水道事業指定給水装置工事事業者(指定工事店)一覧はこちら



稲沢市水道事業 いなざわの 水道かわら版

令和8年1月
第26号

稲沢市水道事業は
ISO9001を取得し、
品質の向上に努めています



発行 愛知県稲沢市上下水道部 水道業務課
〒492-8271 稲沢市石橋六丁目82番地
TEL 0587(21)-2181 FAX 0587(23)-3217

第55回稲沢市消費生活展に水道ブースを出展しました!



稲沢市水道事業
マスコットキャラクター
ドリッピー君



令和7年10月5日(日)にアピタ稲沢店で、「第55回稲沢市消費生活展」が開催されたよ! たくさんの方にアンケートやクイズに答えていただき、ありがとうございました。アンケートに答えていただいた方に水や給水袋を配らせていただきました。

給水袋はどんなときに活用するのかな??(次のページ)▶▶▶

クイズ

災害時に人が生活するためには一人当たり1日何リットルの水があると安心でしょう?
①1リットル ②2リットル ③3リットル

プレゼントキャンペーン

正解者の中から抽選で10名様に「いなざわの水(500ml) 12本セット」をプレゼント
＜地球にやさしいペットボトル＞このボトルはサトウキビの搾りかすから作る植物由来原料を30%使用しています。 ▲ご応募はこちら



●応募方法 応募フォームよりご応募ください。はがきまたはFAXのいずれかの場合は、答え・住所・氏名・性別・年齢・水道への意見等を記入の上、下記へ応募先へ応募してください。

●応募締切 令和8年1月31日(消印有効)

●応募先 〒492-8271 稲沢市石橋六丁目82番地 稲沢市水道業務課「いなざわの水道かわら版プレゼント」係

●FAX 0587-23-3217

正解は次号で発表します。

※お1人様1回のみご応募いただけます。※抽選結果の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。※ペットボトルはリサイクルしましょう。※本キャンペーンの応募を通じてお客様から提供いただいた個人情報は、抽選、当選者への賞品発送及び水道事業の参考とするために、個人を特定しない統計情報として利用いたします。前号のクイズの答え ①50ナノグラム/L 総勢438件の応募があり、当選者には商品を発送いたしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

総合防災訓練を行いました

令和7年9月28日(日)に祖父江中学校で総合防災訓練が行われました。市民の方にも参加していただき、消防団による煙避難体験や稲沢市上下水道工事指定店協同組合による応急復旧訓練などさまざまな訓練が行われました。

稲沢市水道事業は、応急給水栓の訓練を行いました。応急給水栓は、大地震などの災害時でも水を使えるようにするための設備で、配水場から耐震管と言われる地震に強い水道管を経由して水が送られてきます。



訓練の様子

応急給水活動はどのように行われる？

ページID 325

稲沢市では、避難所の応急給水栓に給水装置を接続して給水活動を行います。

応急給水栓が未設置の避難所、または設置済みの避難所でも、応急給水栓から安定して飲料水を給水できるまでは、稲沢市が所有する車載用給水タンクや全国からの支援による給水車で避難所に設置する仮設水槽に水を運びます。

いずれの場合も、水を受け取るためのポリタンクや給水袋などを各自で用意してください。稲沢市でも給水袋を備蓄していますが、数に限りがあります。

ぼくのイラストが目印だよ！



応急給水栓



車載用給水タンク

災害に備えて家庭でできることは？

●水を備蓄しましょう

水は生命維持に欠かせないものです。また、災害時に供給できる水は限られています。日頃から各自で準備をしましょう。

1人1日3リットル×7日以上があると安心です。



水道水の備蓄のしかた

①密閉できる保存用容器(ペットボトル等)を用意し、手をしっかりと洗ってから容器と蓋を洗淨します。



②空気が入らないように水道水を容器の注ぎ口まで入れ、蓋をしっかりと締めます。



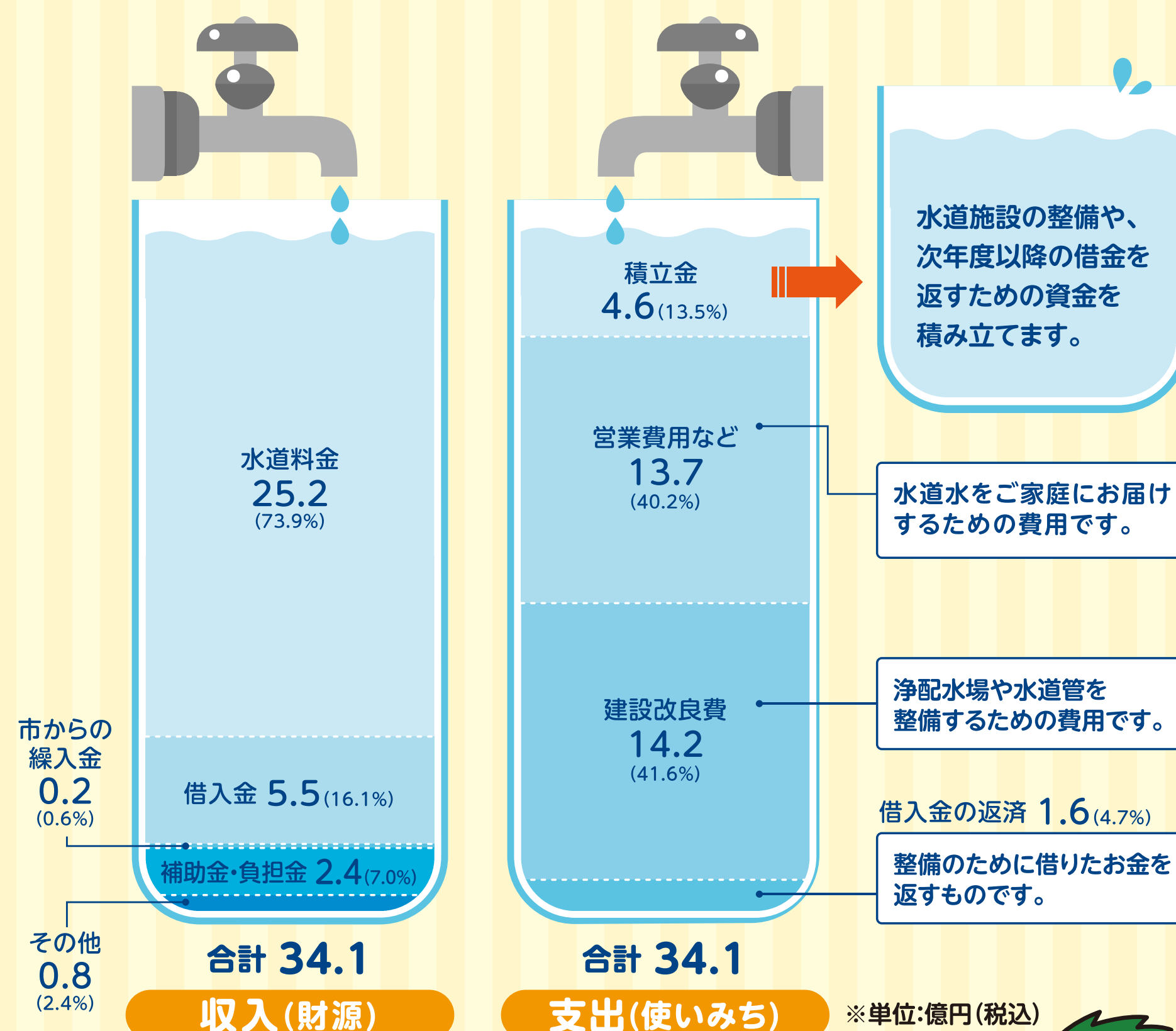
③容器に日付を書き、冷暗所へ保管します。この状態で3日間保管できます。



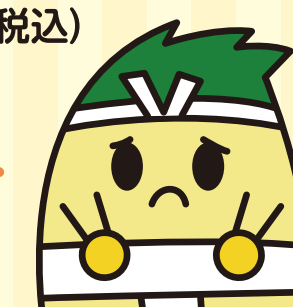
保管上のポイント！

- ・上記の状態で3日間程度は直接飲用できます。
- ・家庭用浄水器を使用した水は、消毒のための塩素を除去するので、保存に適さない場合があります。
- ・水道水を沸かすことはせずに、そのまま保管してください。
- ・保管日数が過ぎた水は、飲用以外の生活用水にお使いください。
- ・浴槽に水を貯めておくと、トイレの水などに使用できます。

令和6年度収支はこのようなになりました



水道事業も物価高騰の影響を大きく受けています。電気料金、資材費、工事費など経費が増加して経営を圧迫しています。



水道事業は『独立採算制』の『地方公営企業』です

水道事業は市が運営していますが、「地方公営企業」という市の財政からは独立した企業です。運営にかかる経費は原則として税金ではなく、みなさまからいただく水道料金でまかなわれています。これを「独立採算制の原則」といいます。

現在は耐震化工事や老朽施設の更新に多くの費用が必要で、今までの積立金や借入金でまかなっていますが、借入金の返済にも水道料金による収入が当てられています。



稲沢市水道料金等審議会

(第1回)を開催しました

人口減少による収入の減少や物価高騰による経費の増大により、経営環境は年々厳しくなっています。上下水道が将来も安心・安全なライフラインであり続けるために、その財源のあり方について、令和7年12月1日(月)に市長が「稲沢市水道料金等審議会」に諮問を行いました。同日に開催された第1回審議会では、上下水道事業の概要、整備計画、経営状況について審議していただきました。



稲沢市水道料金等審議会とは

学識経験者、各種団体の代表者、水道・下水道の使用者等で構成され、市長の諮問に応じ、水道料金等の適正化について調査、審議を行い、その結果を市長に答申する組織です。

審議会に関すること⇒
(今後のスケジュール等)



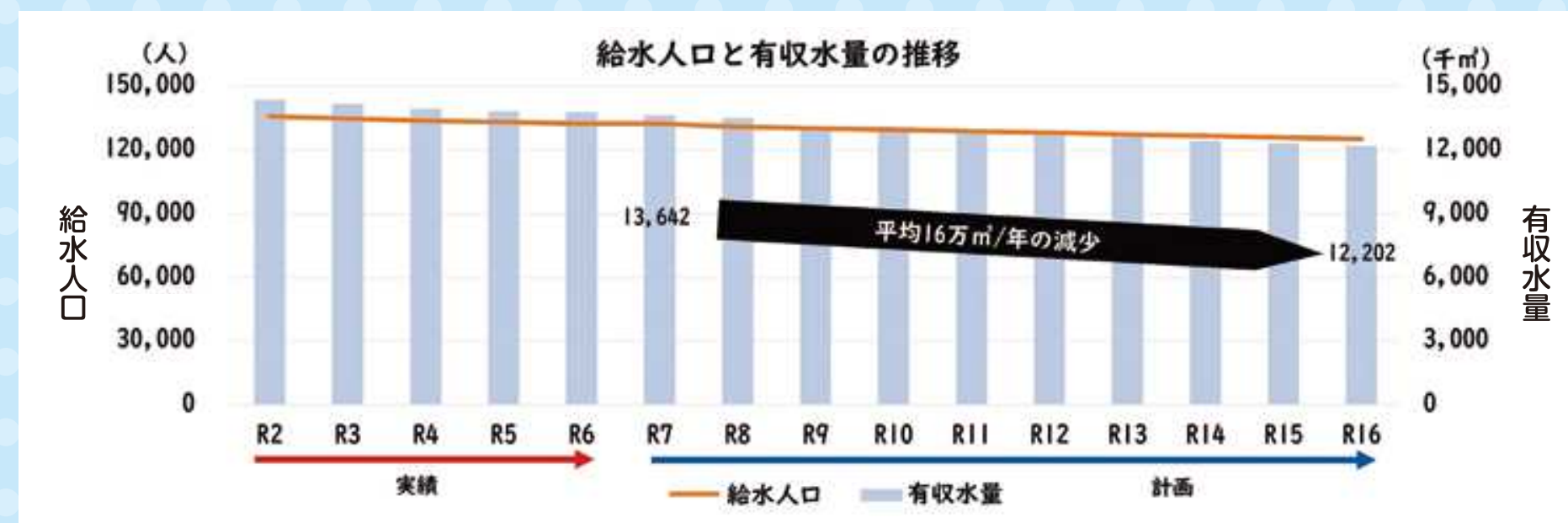
伝えたい ～水道事業・下水道事業の現状～

水道事業は

■収入の減少

人口の減少や節水機器の普及により、有収水量は減少していく見込みです。1年あたり平均16万㎡の減少を見込んでおり、現行単価で計算すると毎年約2,600万円の減収となります。

有収水量とは…家庭や事業所等で使用され、料金が発生した水量



■整備計画

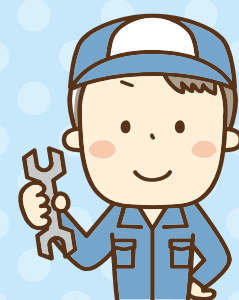
安心・安全な水道を維持していくためには施設の更新が必要です。整備計画では今後30年間で362億円、今後10年間で160億円の更新を予定しています。



管路は総延長距離1,023kmのうち法定耐用年数を経過した管が332km(32.5%)あります。そのうち昭和32年以前に布設された管が103km残っています。



浄配水場にあるポンプ設備などの基幹施設は管路に比べて耐用年数が短く更新に多額の費用がかかりますが、適切な時期に更新することで水を安全に供給することができます。



■経営状況は

令和7年2月に策定した経営戦略では、現行料金のままだと令和9年度には、赤字となる見込みです。健全な事業運営を確保するためには、財源のあり方を見直す必要があります。

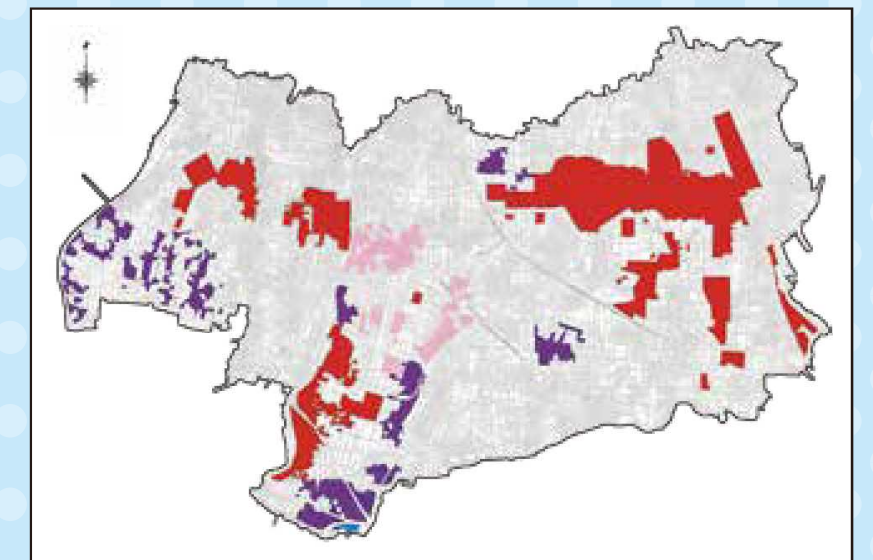
下水道事業は

■3つの下水道事業と異なる使用料体系

令和7年度現在、3つの下水道事業を運営し、4つの使用料体系が存在しています。下水道事業を持続的かつ適正に保つためには、公共下水道への編入を見据え、使用料体系の統一を図っていく必要があります。

1か月20㎡使用した場合(税込)

公共下水道	…2,420円
農業集落排水(稲沢・祖父江)(平和)	…2,200円
コミュニティ・プラント	…2,530円
	…4,180円



下水道の区域図

■公共下水道への編入(広域化・共同化計画)

農業集落排水の一部及びコミュニティ・プラントを公共下水道へ編入することにより、改築更新費や維持管理費の低減を図ります。

■老朽化対策・耐震化対策(ストックマネジメント計画・下水道総合地震対策計画)

公共下水道事業の供用開始は平成12年で、比較的新しい下水道管ですが、老朽化対策や耐震化対策、更には物価上昇などに対応するためには、今後も多額の維持更新費用が必要となります。



マンホール浮上防止対策のようす

■一般会計からの繰入による運営

総務省は下水道事業を下水道使用料でまかなう単価目標を定めていますが、本市の使用料はその目標に達していません。また、下水道事業が一般会計から繰入れる一般会計繰入金の基準を定めていますが、それだけではまかないきれない費用については、基準外繰入として市の一般会計により補てんされています。

本来、この費用は下水道使用料で回収すべきものであるため、健全な事業運営を確保するためには財源のあり方を見直す必要があります。

●一般会計繰入金の状況



過去に高利で借入れた企業債の償還が進むため、一般会計からの繰入金は緩やかな減少見込みだが、引き続き多額の経費が必要。

稲沢市水道事業経営戦略



稲沢市公共下水道事業経営戦略



稲沢市集落排水事業経営戦略

